

よく遊び じっくり学び 正しく選ぶ 子



緑小だより 6月号

令和5年5月31日（水）

茅ヶ崎市立緑が浜小学校
校長 菅野 康一

【強さ=優しさということ】

“もういくつ寝るとゴールデンウィーク！”で乗り切った4月・・・

連休明け5月8日の通学路には、久しぶりの学校に嬉しそうな顔、連休が終わり悲しそうな顔、はねるような軽やかな足取り、引きずるような重い足取りが、様々な音符のように通学路という五線譜に並んで見えました。

6月には祝日がありません。次の祝日は夏休み直前の7月17日の「海の日」まで待たなくてはなりません。

健気に通学路を歩いて来る子どもたちの姿を見ると、“えらいな～、強いな～”と思います。6月は、本当に『律儀な月』ですね！

そこで今回は“**強さとは？**”について考えてみたいと思います。

5月9日に、6年生と一緒に「このころの劇場」（劇団四季の“ジョン万次郎”というミュージカルの鑑賞会）に出かけてきました。6年生は茅ヶ崎駅に集合して、徒歩で会場である茅ヶ崎市民文化会館に向かうのですが、連休中に怪我をして松葉杖で参加した児童がいました。私は、その児童に付き添いながら会場に向かいましたが、駅から会場までは、バリアフリーになってきたとは言え、慣

れない松葉杖で長い距離を歩き、疲れたら途中で休み、ところどころにあるエレベーターで階段を回避しながら、道のりを歩き切った姿を見て本当に“強いな～！”と思いました。

同時に、“大丈夫？”“カバン持とうか？”など、友だちのたくさんの“優しい”言葉がけが、その“強さ”を支えているのだと実感しました。

一人で歩き続ければ、気持ちがちぎれることでしょう。でも、自分に寄り添ってくれる人がいること、自分を待っていてくれる人がいることで、人は何かを乗り越える強さを身に付けることができるのですね。

“糸を束ねる時、強すぎると切れやすくなる。優しく束ねた方が切れにくくなる。だから、みんなで優しく強い緑色の糸を束ねていきましょう！”

“と始業式で話をしましたが、改めて

【強さ=優しさ】

【優しさの数だけ、人は強くなる】

という言葉、今年度のスローガンとして、いろいろな機会を通じて、子どもたちに発信していこうと思います。

さあ、『**律儀な6月**』をこのスローガンとともに、緑が浜小学校みんなで乗り越えていきましょう！！